

学校現職教育にも対応いたします！

# できる! プログラミング教育講座

2020年の指導要領改定とともに、教科外国語やプログラミング教育など新たな教育が始まろうとしています。

そのような中で、教員の担う役割は一層多様化し、悩まれている先生も沢山いらっしゃいます。ICTの

分野においても、次々に新しい機器やソフトが導入され、学校では対応方法を模索しているのが現状です。

そこで、先生方の負担軽減や、質の高い授業の実現に少しでもお役に立てないかと考え、プログラミング教育講座の開催をしております。

## 豊富な 実践事例

教科学習に沿った  
内容の実践的な講座を  
実施しております。

## お客様 満足度95%<sup>※</sup>

アンケートの結果を集計して  
ご報告。効果をご確認  
いただけます。

※当社調べ

## 講師は ICT支援員

実際に学校現場で  
サポートしているプロが  
講師になります。

### 講座紹介

講座で使用するタブレット・ロボットは弊社でご用意いたします。<sup>注</sup>

#### プログラミング入門コース

授業時間 **60分**

「プログラミング教育とは何か？」という基本的な内容から分かりやすくお伝えします。

各教科の内容を指導する中でプログラミングをどう活用するのか、模擬授業を行うことで、より具体的なイメージをつかんでいただけるようになっております。

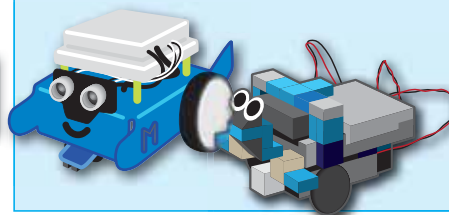


#### ロボットプログラミングコース

授業時間 **60分**

モーターやセンサー、LEDなど電子パーツを使ったロボットを、パソコンで制御するというのを体験していただけます。

模擬授業を通して、どの場面で活用できるのか、詳しくお伝えします。



#### よくばりコース

授業時間 **90分**

「プログラミングもロボットプログラミングもどちらもやっていきたい!」という声にお答えできるよう、コースを設定いたしました。一度に両方体験できる、お得なコースとなっております。



注 ● タブレットの台数は、最大30台までとなっております。 ● ロボットの台数は最大10体のため、グループでの活用となります。

講座の内容・ご予算など、下記お問い合わせ先までお気軽にご相談ください。

お問い合わせ先

株式会社フューチャーイン 文教ソリューション営業部 文教SI課 TEL:052-732-8122 講習会担当

事例紹介

1

プログラミング教育が始まる前に、  
教員全体で基本的なことを共有しておきたい。

学年 ▶ 小学5年生 教科 ▶ 算数 単元 ▶ 円と正多角形



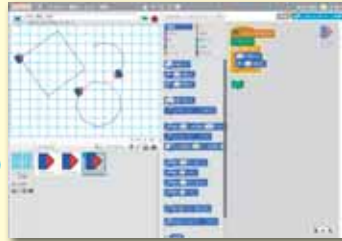
●研修会の様子

アンケート結果より

- 実際に触れてみるととても楽しくできました！子どもたちも教えたらすごく食いついて学ぶことができそうだなと思いました！ありがとうございました。
- プログラミングがどういうものなのかがよく分かりました。
- 今後の教員の研修が大切だと感じました。



新学習指導要領には、5年生 算数「正多角形」の授業でプログラミングを活用する例が示されています。



●多角形の作図プログラム

研修会では、この模擬授業を通して、プログラミングソフトの基本操作から授業の流れまで、実際に体験していただきました。

プログラミングソフトを初めて操作する先生でも、楽しく研修会を受けていただけました。

K市 夏季教員研修会

事例紹介

2

新指導要領のプログラミング教育と教科学習の関連性について詳しく知りたい。

学年 ▶ 小学6年生 教科 ▶ 国語 単元 ▶ やまなし

アンケート結果より

- とても分かりやすく興味深い内容でした。大人でも楽しめるのなら、子どもならなおさらだと思います。これからもこんな具体的なレクチャーをして頂きたいです。本当にありがとうございました。
- 実際に触れてみることでおもしろさが分かりました。サポートが大変よかったです。



研修会では、MITで開発されたプログラミングソフト「Scratch(スクラッチ)」を活用しました。

宮沢賢治の「やまなし」を読んで感じ取ったことを、相手に伝わるようにプログラミングで表現していただきました。

授業の目標やICTとの関わりなど具体的に示しながら研修会を行いました。



●動きを制御するプログラム



●教育ICTセミナー2018でも実施

A地区 視聴覚部会 夏季研修会

事例紹介

3

プログラミング教育の実施に向けてフリーソフトだけでなく、ロボットも制御する体験をしておきたい。

学年 ▶ 小学6年生 教科 ▶ 理科 単元 ▶ 電気の利用

アンケート結果より

- プログラムでロボットに命令すると結果が分かりやすく、子どもの興味を引くものだと思います。
- 中学校では技術科でプログラミングが必修なので、とても勉強になりました。



研修会では Makeblock 社が提供するロボット「mBot(エムボット)」を使用しました。単元「電気の利用」にプログラミングを取り入れた場合の、学習の流れを体験していただきました。他にもクラブ活動での活用例として、ロボットサッカーにもチャレンジしていただきました。

また、別種類のロボットとして、Artec社が提供する「アーテックロボ」を使った、街灯の点灯制御プログラムをグループで話し合いながら作っていただくこともできます。(※手回し発電機・コンデンサーは学校様で用意ください。)



●mBotでロボットサッカーの体験



●Studuinoで街灯を再現

T市 ICT教育推進委員会 夏季研修会

お問い合わせ先



株式会社 フューチャーイン

文教ソリューション本部 文教ソリューション営業部 文教SI課 講習会担当  
住所：〒464-8567 名古屋市千種区内山2-6-22  
電話：052-732-8122 URL：http://www.futureinn.co.jp/